

大会実施要項

主催 財団法人 日本自転車競技連盟
共催 (公財)全国高等学校体育連盟自転車競技専門部・日本学生自転車競技連盟・韓国学生サイクル連盟
協賛 (財)JKA・(社)全国競輪施行者協議会・(社)日本競輪選手会・(財)日本自転車競技会・奈良県
奈良県自転車競技連盟・奈良県高等学校体育連盟自転車競技専門部

期 日 2012年11月3日(日)～4日(月)

会 場 奈良県営競輪場 (周長333m)
奈良県奈良市秋篠町98 TEL 0742-45-4481

大会主旨

本大会は、自転車競技大会を通じて、日韓両国の学生選手の相互研鑽・友好および親善を図るとともに、情報交換を進め、両国の学生自転車競技に係わる連盟相互の結束・紐帯を強化することを目的として開催する。

代表団の構成

両国の代表団は各々、男子大学生5名、男子高校生5名、女子5名、役員(団長・監督・コーチ等)5名、合計20名を以て構成する。

競技種目(エントリー数)

男子大学生: スプリント(2)
1kmタイムトライアル(2)
4kmインディヴィデュアル・パーシュート(2)
4kmチームパーシュート(4)
ケイリン(2)
ポイント・レース(5)

男子高校生: スプリント(2)
1kmタイムトライアル(2)
3kmインディヴィデュアル・パーシュート(2)
チームスプリント(3)
ケイリン(1)
ポイント・レース(5)

女 子: スプリント(2)
500mタイムトライアル(2)
2kmインディヴィデュアル・パーシュート(2)
チームスプリント(2)
ポイント・レース(5)

代表選手

日本: 男子大学生については日本学生自転車競技連盟が選抜、
高校生については全国高体連自転車競技専門部が選抜する。

韓国: 韓国学生サイクル連盟が選抜する。

選手受付

- 1 参加選手は参加チーム毎にライセンスを大会本部に提示し、ボディーナンバーを受け取ること
- 2 出走選手の受付は、各競技種目の最初の競技開始15分前までに、ここに招集所にて行う

賞 典

- 1 個人種目は、第3位以上の選手に賞品と賞状を授与する。
- 2 団体種目は、第2位以上のチーム(選手)に賞品と賞状を授与する。
- 3 各カテゴリー(大学生・高校生・女子)の総合成績に基づいて賞品と賞状を授与する。
- 4 国家対抗の総合成績に基づいて賞品と賞状を授与する。

事故措置

- 1 競技中に発生した事故等の処理は、JCF 競技規則第6条による。主催者にて応急処理の範囲の体制は準備する。
- 2 日本側の各選手は、健康保険証を持参すること。

競技規則

UCI競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。

事務局

(公財)全国高等学校体育連盟自転車競技専門部、日本学生自転車競技連盟

協議

この要項によらない事項に関しては、日韓相互の協議により決定するものとする。

2012年 日韓対抗学生自転車競技大会 特別規則

第1条(スプリント) 予選タイムにより準決勝の組合せを決定し、決勝戦のみ3本勝負とする。

第2条(インディヴィジュアルパーシュート・タイムトライアル・団体種目) 決勝戦のみのタイムレースとして行う。

第3条(ポイントレース) 男子は、大学生と高校生の混合レースとし、30km で実施する。

女子については、12km で行う。

第4条(対抗得点)

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
個人種目	5 点	3 点	1 点		
ポイントレース	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点
団体種目	7 点	4 点			

第5条(監督会議) 11月3日(土)10時より行うものとする

第6条(式典) 1. 開会式は11月3日(土)12時より競技場内で行うものとする

2. 表彰式は、表彰式は第3位以上のみ、時程表に基づき、競技場内にて行う

3. 閉会式は、競技終了後、準備が整い次第、競技場内にて行う。

日本学生自転車競技連盟選手 追加連絡事項

1、参加負担金

一人 15000 円。当日現地で徴収する。

主催者基準による交通費、宿泊費等は支給される。

2、宿泊先 奈良競輪場選手宿舎

3、日程(別途、競技日程参照)

2 日 14 時 奈良競輪場集合

15 時～17 時 練習(TP等)

3 日 競技 夕方交流レセプション

4 日 競技 15 時頃 解散予定

4、その他

ウォーミングアップは競輪場のローラーを借用予定。

機材は各選手で管理・整備すること。

以上